

- ・胎児超音波検査で何がわかりますか？……………P2
- ・新任医師の紹介……………P3
- ・市民公開講座のご案内・受賞のお知らせ……………P4
- ・広報誌をご覧の皆様へ……………P4

静岡病院ニュース

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 69
2016年10月14日



リハビリテーション科新設!!

1:これまで

順天堂静岡病院の32番目の科となるリハビリテーション科がこの7月に新設されました。もともとリハビリ室

としては昭和47年の開院当時から治療を続けてきました。平成22年には日本リハビリテーション学会の認定病院も取得し、現在は理学療法士（PT）運動機能の回復 13名、作業療法士（OT）日常生活動作の回復 4名、言語療法士（ST）言語と嚥下の回復が2名の計19名と所属医師2名の布陣での新しい門出です。



2:リハビリテーションって、よくいわれているけど…

超高齢化社会をむかえ「運動」の重要性がマスコミで取り上げられています。運動と認知症、運動と免疫、運動と骨、運動とストレス等々皆さんも聞いたことがあると思います。脳血管や心臓疾患、内臓疾患や骨折による廃用にいたるまで、多種の病気の後に『ヒトらしい生活のための機能を取り戻す』ことがリハビリテーションです。近年全ての病気の早期からリハビリを開始する流れが高まっており、当院のような急性期病院でその成果が多数報告されています。各部門相互の連絡を密に取り、よりよい医療を提供していきたいと考えています。



順天堂大学医学部附属静岡病院
整形外科・リハビリテーション科

前任准教授 大林 治

胎児超音波検査で何が分かりますか？



産婦人科 准教授

田中利隆

●胎児超音波スクリーニング検査

お母さん、お父さんにとって、おなかの中を元気に動く赤ちゃんを見る瞬間は、とても幸せな時間だと思います。その一方で、おなかの赤ちゃんは健康に生まれてくるだろうかと漠然とした不安を抱かれている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ほとんどの赤ちゃんは何の問題もなく元気に生まれてきます。しかし赤ちゃんの3〜5%は何らかの先天的な異常があることが知られています。この異常の中には、生命に全く影響しない軽度なもの、出生前に診断して早期に治療を行うことで問題なく発育するもの、病気と分かっているにもかかわらず治療法のないものなど様々なものがあります。

胎児超音波検査は、お母さんの負担も少なく、赤ちゃんにも安全で、簡単に多くの情報を得ることができる検査です。通常の妊婦健診でも、赤ちゃんの発育などの観察を行います。当院では妊娠20週と30週前後に赤ちゃんの形態異常の詳細なチェックを行っています（頭部、顔面、胸部、腹部、外生殖器、四肢、臍帯、胎盤など）。この胎児超音波スクリーニング検査は、赤ちゃんがお腹の中にいるうちに異常を見つけることで、赤ちゃんのより健康な発育のために最も適した妊娠・分娩管理を行うことを目的にしています。（指先や心臓の小さい穴など超音波では見

つけられない奇形も多く存在します。）

当院では2016年から、より鮮明で詳細な画像を得ることができる最新の超音波装置を導入し、今まで以上に赤ちゃん、胎盤、羊水などの状態を正確に評価できるようになりました。もし胎児超音波スクリーニング検査で異常を認めた場合には、胎児精密超音波外来を受診していただき、超音波専門医による精密検査を行っています。この精密検査では、異常のある部分を重点的にチェックし、必要に応じてカラードプラによる胎児や胎盤の血流の評価や、3Dや4D超音波による形態異常の評価を行っています。



妊娠28週の赤ちゃん(3D超音波)

●胎児心エコー検査

新生児の心奇形は先天奇形の中で最も頻度が高く、約1%（100人に1人）と言われています。多くの先天性心疾患は軽症ですが、中には命を落としてしまう心臓病もあります。もし生まれる前に診断がしていたら、より良い状態で治療を開始することができ、救命率も上がります。またご両親も心臓病に対する心配をしっかりとって生まれてくるお子さんをむかえられることとなります。そのため当院では胎児超音波スクリーニング検査で心臓の異常が疑われた場合や心臓病の家族歴がある場合などに、胎児精密超音波外来の中で胎児心エコー検査を行っています。もし、出生後すぐに手術などの治療が必要と判断した場合には、静岡県立こども病院と連携して、生まれる前からお母さんと赤ちゃんにとって、最も適した周産期管理を行います。

新任医師の紹介

超音波検査によりひとつひとつの臓器を確認して病気のないことを診断されることはご両親にとっても安心できることです。一方で病気があることが分かった場合でも、その病気がどんなもので、妊娠中から分娩後にかけてどのような経過をとるのか、また今何かするべきこととはあるのかなど説明することにより、ご両親の不安を取り除き、病気と向き合うことができるといえます。我々すべての妊婦さんが安心して妊娠・分娩に臨めるように、今後とも努力してまいります。



血液内科

准教授 岩尾 憲明

『ご挨拶と輸血のお話』

皆様、こんにちは。私は平成28年4月に着任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。さて、私は血液内科医師であると同時に日本輸血・細胞治療学会認定医でもあるため輸血管理の仕事も担当させていただいております。当院の輸血業務はこれまで輸血検査を輸血室（検査室）が担当し、輸血製剤の管理を薬剤科が担当する二元管理体制でしたが、平成28年4月から輸血室が輸血検査と輸血製剤の管理を担当する一元管理体制となり、輸血室として新たにスタートしました。私はこの節目の時期に着任し、輸血室業務の整備・構築に関わることになりました。輸血は手術や救急、癌の治療

など様々な医療の現場において必要不可欠なものです。血液は人工的に製造できないので、輸血は献血から得られる貴重な医療資源です。このことをしっかりと認識して、臨床検査技師と協力しながら輸血を必要とする多くの患者さんの治療を支援するとともに、適正な輸血実施に向けて取り組んでいきたいと思ひます。



糖尿病・
内分泌内科

准教授 佐藤 淳子

糖尿病・内分泌内科の佐藤淳子です。平成28年7月、本院より静岡病院に赴任してまいりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

糖尿病はよく知られているように、血糖値が上がると、尿の中にも糖が出てきてしまう病気です。血糖値が悪いまま放ってお

くと、ある日突然、心筋梗塞や脳梗塞、失明などの合併症が出現することも考えられます。検診で糖尿病といわれた、これまでに治療を受けているがなかなかよくなるなど、ご不安があれば、ぜひ一度ご相談ください。今後の治療をよりよいものとするための2週間の「支援入院」コースも設けております。

糖尿病にはよく知られている2型糖尿病以外に、1型糖尿病、妊娠糖尿病、ステロイド糖尿病など、いろいろな種類があります。また脂質代謝異常症、高尿酸血症などの生活習慣病や、パセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎などの甲状腺疾患、下垂体疾患（クッシング病など）、副腎疾患（原発性アルドステロン症など）等も専門としております。みなさまの疑問に丁寧にお答えしながら、それぞれの方にあった治療法をとるに考えさせていただきます。どうぞお気軽に声をかけてください。

市民公開講座開催のご案内

第48回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

『大動脈弁狭窄症』

～その症状、診断、治療について～

平成28年10月18日火 17:30～18:30(開場17:00)

講師 心臓血管外科 教授 丹原 圭一先生

第49回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

『身近に潜む呼吸器感染症』

～肺炎、結核、インフルエンザなど～

講師 呼吸器内科 教授 岩神 真一郎先生

『肺癌の手術最前線』

～貴方が肺癌に罹ったら知っておきたいこと～

講師 呼吸器外科 助教 市之川 英臣先生

平成28年11月22日火 17:30～18:30(開場17:00)

第50回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

『糖尿病はなぜこわい？』

～あなたの生活習慣は大丈夫ですか～

平成28年12月14日水 17:30～18:30(開場17:00)

講師 糖尿病・内分泌内科 准教授 佐藤 淳子先生

- 場 所／順天堂大学医学部附属静岡病院 管理棟4階 第1会議室 (静岡県伊豆の国市長岡1129番地)
- 定 員／100名(定員に達した場合はお断りすることもございます)
- 参加方法／どなたでも自由にご参加いただけます。当日、直接会場までお越し下さい。

参加費 無料 申込み 不要

お問い合わせ 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 TEL: 055-948-3111(代) FAX: 055-948-2103(直通)

■共催／順天堂大学医学部附属静岡病院／順天堂大学医学部／静岡災害医学研究センター／伊豆の国市／一般社団法人田方医師会

広報誌をご覧の皆様へ

ご意見ご要望等ございましたら、下記まで御連絡下さい。

問合せ: 順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター地域医療連携室 電話: 055-948-3111 (内線) 3550

「米国白内障屈折矯正手術学会 (ASCRS) が本年5月6日より10日まで米国ニューヨークで開催されました。本学会は世界的に権威ある眼科学会の一つであり、世界中から眼科医が集まり最新の治療法などについて活発な議論が行われます。今年度は太田俊彦教授が、白内障手術における新しい切開法を発表してさらに上位の賞である「白内障手術部門賞」を受賞しました。

2016年度米国白内障屈折矯正手術学会(ASCRS)にて3度目の受賞!!